

令和のペインター

10

October
2024 NO.187

月刊 アートコレクターズ

*The Pleasure To See.
The Pleasure To Buy.*

Art Collectors'

鼎談

あおいうに×
yutaokuda×山田康平
混乱の時代をサヴァイヴする

インタビュー

小林孝亘 梅津庸一



ペ
ン
タ
ー

命
和
の

中特集 第22回 東美特別展

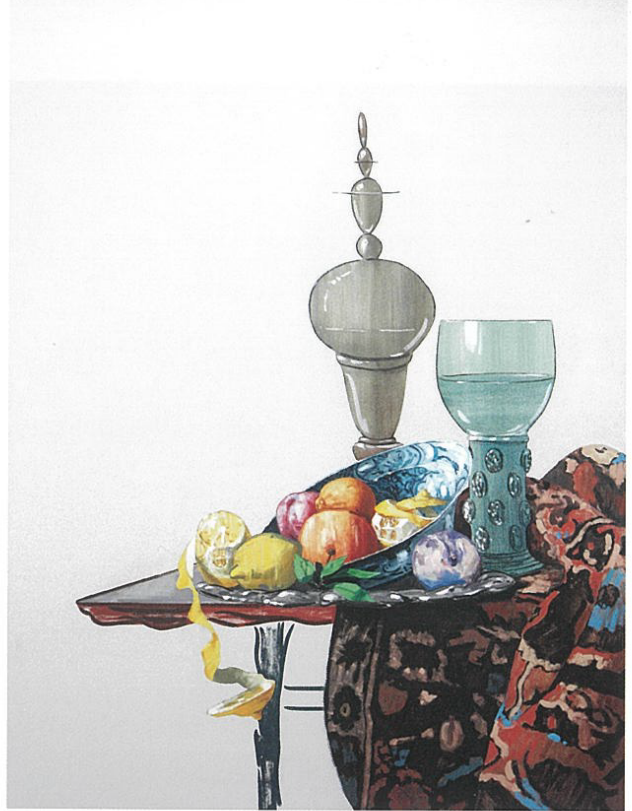
小津 航

「Still Life with Fruit Bowl and Water Jar」

2024年 油彩、キャンバス 130×97cm

16歳のころ近所の洋画家のアトリエでカラヴァッジョやベラスケスの画集を広げながら初めて油絵を描きました。一方、山水画、大和絵や琳派などの日本美術も好み、東洋西洋を行き来するように画集を見ていました。制作の軸もこの頃の経験が影響しており、東洋と西洋の絵画空間を再考しながら絵を描くことを意識しています。(小津)

おづ・わたる 1991年東京都生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻修了。
G ギャラリーためなが F 掲載作品=50万円



山部 杏奈

「ある部屋の光」

2023年 胡粉、岩絵具、水干絵具、麻布 162×162cm

自宅の窓辺の風景をモチーフに制作している中で、初めは布の性質に興味があり、日本画の中の布の表現や線の表情に憧れていた。最も身近な布がカーテンや洗濯物だったため、特に吊り下げられた布の形に魅力を感じ、自然と作品の場面に窓辺の風景が増えていった。その布を魅力的に見せている要因を探ると、光や空気、温度など部屋全体の条件が深く影響していることに気づき、モチーフが窓辺や部屋全体へと広がっていった。幾何学的な画面構成の中に異様な実感を内包しているパウル・クレーは、作品のあり方として影響を受けている。(山部)

やまべ・あんな 1996年京都府生まれ。2021年京都市立芸術大学大学院絵画専攻日本画領域修了。G ギャラリーQ F 掲載作品=110万円 I 個展「光と部屋」(10/22~10/27・ギャラリー恵風)

坂田 桃歌

「蝶が飛ぶほどきれいな思い出」

2024年 油彩、色鉛筆、木くず、ガーゼ 約95×110cm

高校3年生の時、私の住んでいた地区で大きな土砂崩れがありました。東京の大学受験を考え始めていて、自分がここを離れることは捨てることと一緒にのかもしれないと極端に考えた時期でもありました。これをきっかけに、大分を離れてからも地元での問題や過ごした思い出を俯瞰的に、またあるときは等身大の目線で描くことで自分なりに向き合う姿勢をつくろうとしました。(坂田)

さかた・ももか 2001年大分県生まれ。武威野美術大学造形学部油絵学科卒業。G RISE GALLERY F 要問い合わせ I 南飛驒Art Discovery (10/19~11/24・下呂市)

